

学会だより

一般社団法人日本地域看護学会 2021年度事業報告書

I. 会員数

1. ブロック別会員数

2022年5月31日現在

ブロック	都道府県	会員数
北海道・東北	北海道, 青森, 秋田, 宮城, 山形, 福島, 岩手	122
関東	群馬, 茨城, 栃木, 千葉, 埼玉, 神奈川	320
東京都	東京都	154
甲信越・中部	静岡, 愛知, 岐阜, 三重, 福井, 富山, 石川, 長野, 山梨, 新潟	289
関西	滋賀, 大阪, 京都, 奈良, 兵庫, 和歌山	247
中国・四国	岡山, 広島, 島根, 鳥取, 山口, 高知, 香川, 徳島, 愛媛	143
九州・沖縄	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 鹿児島, 宮崎, 沖縄	120
海外	フランス	1
	会員数合計	1,396

2. 経年会員数推移

総会報告時

年度	会員数	対前年度比	年度	会員数	対前年度比
1998	420	—	2011	1,286	94%
1999	569	135%	2012	1,298	100%
2000	695	122%	2013	1,312	101%
2001	794	114%	2014	1,339	102%
2002	918	115%	2015	1,417	105%
2003	935	101%	2016	1,404	99%
2004	976	104%	2017	1,441	102%
2005	1,068	109%	2018	1,438	99%
2006	1,128	105%	2019	1,424	99%
2007	1,172	103%	2020	1,413	99%
2008	1,241	105%	2021	1,405	99%
2009	1,265	101%	2022	1,396	99%
2010	1,360	107%			

II. 事業報告

1. 理事会を4回, 新役員候補者による懇談会を1回開催した.

会議名	開催日・方法	主な議題
2021年度 第1回理事会	2021年5月1日 Zoomによるオンライン会議	2020年度事業報告, 決算・監査報告, 2021年度事業計画, 予算, 2021年度社員総会開催方法等
新役員懇談会	2021年5月1日 Zoomによるオンライン会議	新理事長, 新副理事長, 推薦理事, 総務当理事, 会計担当理事, 各委員会委員長の検討等
2021年度 第2回理事会	2021年7月24日 Zoomによるオンライン会議	2021年度理事会事業計画, 委員会事業計画, 新規ワーキンググループ, メール審議内規(案)の検討等
2021年度 第3回理事会	2021年10月31日 Zoomによるオンライン会議	第26回学術集会の開催方法, 日本地域看護学会臨時理事会における審議内規(案), 学会誌投稿規程改定(案)についての検討
2021年度 第4回理事会	2022年2月6日 Zoomによるオンライン会議	第25回学術集会理事会セミナー, 2022年度社員総会, 2021年度事業報告, 中間決算報告, 2022, 2023年度事業計画, 予算, 2021年度表彰論文選出等

※その他, 監査および委員会における会議(詳細は各委員会の報告書を参照)を適宜開催した。

2. メール審議を2回実施した。

会議名	審議結果報告日	議 題	結 果
第1回 メール審議	2021年 8月20日	次世代研究推進活動チームの活動計画について	理事15名中賛成15名、監事2名異議なし 全員一致で承認
第2回 メール審議	2022年 1月13日	国際交流推進委員会の小西かおる委員長より、第7回WANS学術集会の招待講演への候補者について	理事15名中賛成15名、監事2名異議なし 全員一致で承認

3. 社員総会を1回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2021年度 社員総会	2021年6月27日 書面開催ののち、Zoomによるオンライン会議にて意見交換会を実施	2020年度事業報告、決算・監査報告、2021年度事業計画、予算、役員の選任、名誉会員の承認等

4. 会員報告会の開催を第24回学術集會会期中に予定していたが、第24巻第2号掲載の「学会だより」にて書面により報告した。
5. 第24回学術集會について、2021年8月27日～9月26日：オンデマンド配信、2021年9月11～12日：ライブ配信にて開催した。参加者は659人（前期登録：会員253人／非会員146人、後期登録：会員81人／非会員152人、学生：27人）であり、一般演題79題、ワークショップ9題の登録があった。会期中のHPへのアクセス数は98,825件であり、そのうちライブ配信時のアクセス数は、9月11日15,922件、9月12日10,001件であった。動画再生数は、オンデマンド配信4,600回、ライブ配信656回であった。
テーマ：共生社会における新たな地域看護の挑戦
学術集會会長：岸 恵美子（東邦大学大学院看護学研究科）
6. 理事会企画セミナーを、第24回学術集會にてオンデマンド配信により実施した。
テーマ：「Society5.0」の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題
—ポスト・ウイズコロナ社会への転換を視野に入れて—
講 師：乙部 由子氏（元名古屋工業大学特任准教授／特定非営利活動法人ウイメンズボイス理事）
7. 日本地域看護学会誌第24巻第1号（2021年4月20日発行）、第2号（2021年8月20日発行）、第3号（2021年12月20日）を電子体で発行した。
8. 地域看護学に関する研究活動を推進し、委員会セミナーをオンライン開催にて実施した。
ライブ配信：2022年3月5日
オンデマンド配信：2022年3月6～21日
タイトル：地域看護に活かせるGISを用いた研究の理論と実際
—脆弱地域を今すぐ可視化！ 地域の強み弱みを実践に活かす—
テーマ・講師：①GISを用いた研究の理論
堀池 諒氏（高知県健康政策部須崎福祉保健所主査／保健師）
②GISを用いた地域看護研究の実例
中井 寿雄氏（金沢医科大学看護学部准教授）
参加者：122名（会員：105名、大学院生：5名、非会員：12名）
9. 広報活動の一環として、地域包括支援センター等への広報・調査を実施した。
10. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。
『看護展望』2021年5月号特集「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法から考える『地域・在宅看護論』の新たな授業づくり」に、検討した地域看護学の教育内容・方法について寄稿した。
11. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letter No.21を発行した。
12. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文の決定と名誉会員候補者の検討を行った。
 - 1) 優秀論文（1編）
タイトル：認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師のコーディネーション尺度の開発（原著）

著 者：岡野明美・上野昌江・大川聡子

巻 号：第23巻第1号

2) 奨励論文(2編)

タイトル：市町村保健師の職業的アイデンティティの形成プロセスと影響要因：複線径路等至性モデリング(TEM)による4類型からみた特徴(原著)

著 者：小路浩子

巻 号：第23巻第2号

タイトル：アクションリサーチによる地区組織基盤の世代間交流プログラムの開発と評価(研究報告)

著 者：有本 梓・伊藤絵梨子・白谷佳恵・田高悦子

巻 号：第23巻第2号

3) 名誉会員候補者：早川和生氏

2004年度学術集会長であり、理事を2期6年間務められた。

13. 災害に対する支援のあり方を検討した。

14. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。

「第3回(3期)全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 学術集会」で、本学会から災害支援のあり方検討委員会の春山早苗委員長が、「新型コロナウイルス感染症対策において日本地域看護学会が果たす役割 —学会員による保健所等支援の取組みから—」の演題発表を行った。

15. 新型コロナウイルス関連情報特設サイトを、定期的に更新し、継続して情報発信に努めた。

16. 活動推進エンジンチームならびに次世代研究活動推進チームを立ち上げ、魅力ある学会づくりや本学会の特徴の明確化と共有、潜在している会員のニーズの発掘と学会活動への連動、学術団体としての役割等、本学会が強化すべき課題に対応することを目的とし、1年間の期限で活動した。2021年度は、報告書の原案を作成し、2022年度中に会員に周知するとともに、次年度以降の活動の方向性を示した。

一般社団法人日本地域看護学会 2022年度事業計画書

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第25回学術集会を開催する。
5. 第25回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第25巻第1号, 第2号, 第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い, News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 地域看護学における実践活動の促進について検討する。
14. 地域看護学における次世代育成の推進について検討する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め, 活動に参画する。
16. 代議員・役員選挙を行う。
17. その他必要な事業を行う。

一般社団法人日本地域看護学会 2023年度事業計画書

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第26回学術集会を開催する。
5. 第26回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第26巻第1号, 第2号, 第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い, News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 地域看護学における実践活動の促進について検討する。
14. 地域看護学における次世代育成の推進について検討する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め, 活動に参画する。
16. その他必要な事業を行う。

一般社団法人日本地域看護学会 2021年度貸借対照表

2022年3月31日現在
(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
流動資産			
現金預金	30,465,760	7,952,851	22,512,909
普通預金(事務センター)	24,144,541	4,133,960	20,010,581
郵便振替(年会費等)	3,044,602	1,109,670	1,934,932
普通預金(研究セミナー)	0	237,099	△237,099
普通預金(第24回学会集運転資金)	0	1,769,564	△1,769,564
普通預金(第25回学会集運転資金)	2,138,163	0	2,138,163
普通預金(第25回学会集参加費)	435,890	0	435,890
普通預金(将来事業準備資金)	702,564	702,558	6
未収金	0	14,233,544	△14,233,544
前払金(第24回学会集運転資金)	0	30,440	△30,440
前払金(第25回学会集運転資金)	1,294,518	1,239,680	54,838
流動資産合計	31,760,278	23,456,515	8,303,763
資産合計	31,760,278	23,456,515	8,303,763
II. 負債の部			
流動負債			
未払金	0	68,400	△68,400
前受金(年会費等)	3,044,602	1,109,670	1,934,932
前受金(第24回学会集運転資金)	0	800,004	△800,004
前受金(第25回学会集運転資金)	1,625,891	0	1,625,891
流動負債合計	4,670,493	1,978,074	2,692,419
負債合計	4,670,493	1,978,074	2,692,419
III. 正味財産の部			
一般正味財産	27,089,785	21,478,441	5,611,344
正味財産合計	27,089,785	21,478,441	5,611,344
負債及び正味財産合計	31,760,278	23,456,515	8,303,763

一般社団法人日本地域看護学会 2021年度収支計算書

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

I. 一般会計

1. 収入

(単位：円)

項目	2021年度 予算	2021年度 決算	差 異 (収入減 △)	備 考
1 年会費	13,800,000	13,950,000	150,000	10,000円×1,395件 2021年度分：1,345 / 1,436人(入金率93.7%) 過年度分：50件
2 入会金	500,000	500,000	0	5,000円×100人
3 寄付金	0	0	0	
4 第24回学術集会	8,000,000	8,428,511	428,511	勇美記念財団からの助成金800,000円を含む
5 委員会セミナー参加費	300,000	263,000	△ 37,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	130,000	△ 70,000	5,000円×26件
7 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
8 雑収入	10,100	14,447	4,347	
(1) 利息	100	157	57	
(2) 著作権使用料	10,000	11,220	1,220	医学中央雑誌刊行会より
(3) その他	0	3,070	3,070	雑誌売上：2,870円、抄録コピーサービス代：200円
(A) 当期収入合計	22,810,100	23,285,958	475,858	
前期繰越金	20,775,883	20,775,883	0	
(B) 合 計	43,585,983	44,061,841	475,858	

2. 支出

(単位：円)

項目	2021年度 予算	2021年度 決算	差 異 (支出増 △)	備 考
事業費支出				
1 第24回学術集会	9,000,000	9,063,285	△ 63,285	
2 理事会セミナー	50,000	48,894	1,106	講師謝金：22,274円、開催サポート費：26,620円
3 会員報告会	50,000	60,500	△ 10,500	開催サポート費
4 研究論文表彰費	150,000	139,995	10,005	論文賞副賞：110,000円、賞状等：29,995円
5 学会誌	4,050,000	3,167,450	882,550	
(1) 製作費	3,900,000	3,088,250	811,750	第24巻第1号、第2号、第3号
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	79,200	70,800	掲載論文18編
6 委員会活動費	2,800,000	1,230,596	1,569,404	
(1) 編集委員会	1,000,000	400,953	599,047	委員会(3回)、拡大編集委員会(1回)開催等
(2) 研究活動推進委員会	500,000	509,735	△ 9,735	委員会開催(3回)、委員会セミナー開催費
(3) 広報委員会	300,000	154,008	145,992	委員会開催(3回)、委員会調査実施費用
(4) 教育委員会	500,000	0	500,000	委員会開催(5回)
(5) 国際交流推進委員会	200,000	165,900	34,100	委員会開催(1回)、NL No.21作成費・執筆料
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	0	100,000	委員会開催(1回)
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	0	200,000	委員会開催(2回)、ワークショップ開催費
7 選挙運営費	0	0	0	
8 諸会費	100,000	100,000	0	
(1) 日本看護学会協議会	80,000	80,000	0	2021年度会費
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	0	2021年度会費
9 雑費	50,000	42,372	7,628	会員報告会Zoom背景作成費：11,000円、次世代研究WG活動費：31,372円
事業費小計	16,250,000	13,853,092	2,396,908	
管理費支出				
1 会議費	250,000	77,110	172,890	
(1) 理事会	200,000	66,110	133,890	理事会(4回)、監査(2回)、Web会議費用を含む
(2) 社員総会	50,000	11,000	39,000	社員総会(1回)
2 交通・宿泊費	400,000	0	400,000	
3 印刷費	400,000	266,581	133,419	会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費
4 発送費	400,000	269,339	130,661	年会費請求書・入会通知等発送費
5 ホームページ管理費	400,000	396,000	4,000	
6 業務委託費	2,900,000	2,651,880	248,120	
7 租税公課	70,000	70,000	0	法人税
8 雑費	120,000	90,618	29,382	
(1) 振込手数料	40,000	33,110	6,890	振込手数料：6,490円、 振替通知書発行手数料：26,620円
(2) その他	80,000	57,508	22,492	登記変更費等、弔電代
管理費小計	4,940,000	3,821,528	1,118,472	

資産積立支出

1 将来事業準備資金積立金	0	0	0
資産積立支出小計	0	0	0
(C) 当期支出合計	21,190,000	17,674,620	3,515,380
(A-C) 当期収支差額	1,620,100	5,611,338	△ 3,991,238
(B-C) 次期繰越金	22,395,983	26,387,221	△ 3,991,238

Ⅱ. 積立金

将来事業準備資金

(単位：円)

	収 入		支 出		備 考
前期繰越金	702,558	取崩		0	
繰入	0	次期繰越金		702,564	
受取利息	6				
	収入合計		支出合計	702,564	

一般社団法人日本地域看護学会 2021年度財産目録

2022年3月31日現在
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
普通預金(事務センター)	三菱UFJ銀行	一般会計/学会運転資金	24,144,541
郵便振替(年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	3,044,602
普通預金(第25回学会集運転資金)	ゆうちょ銀行	一般会計/第25回学会集運転資金	2,138,163
普通預金(第25回学会集参加費)	ゆうちょ銀行	一般会計/第25回学会集参加費	435,890
普通預金(将来事業準備資金)	三菱UFJ銀行	積立金/将来事業準備資金	702,564
前払金(第25回学会集運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第25回学会集会場費等	1,294,518
		流動資産合計	31,760,278
		資産合計	31,760,278
(流動負債)			
前受金(年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	3,044,602
前受金(第25回学会集運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第25回学会集運転資金	1,190,001
前受金(第25回学会集運転資金)	ゆうちょ銀行	一般会計/第25回学会集運転資金	435,890
		流動負債合計	4,670,493
		負債合計	4,670,493
		正味財産	27,089,785

一般社団法人日本地域看護学会 2022年度収支予算書

自 2022年4月1日
至 2023年3月31日

I. 一般会計

1. 収入

(単位：円)

項目	2022年度 予算	2021年度 予算	2021年度 決算	備考
1 年会費	13,800,000	13,800,000	13,950,000	10,000円×1,380 / 1,470人(入金率94%程度)
2 入会金	500,000	500,000	500,000	5,000円×100人
3 寄付金	0	0	0	
4 第25回学術集会	10,730,000	8,000,000	8,428,511	
5 委員会セミナー参加費	500,000	300,000	263,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	200,000	130,000	5,000円×40件
7 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
8 雑収入	10,100	10,100	14,447	
(1) 利息	100	100	157	
(2) 著作権使用料	10,000	10,000	11,220	医学中央雑誌刊行会
(3) その他	0	0	3,070	
(A) 当期収入合計	25,740,100	22,810,100	23,285,958	
前期繰越金	26,387,221	20,775,883	20,775,883	
(B) 合計	52,127,321	43,585,983	44,061,841	

2. 支出

(単位：円)

項目	2022年度 予算	2021年度 予算	2021年度 決算	備考
事業費支出				
1 第25回学術集会	11,730,000	9,000,000	9,063,285	
2 理事会セミナー	50,000	50,000	48,894	
3 会員報告会	50,000	50,000	60,500	
4 研究論文表彰費	150,000	150,000	139,995	論文賞副賞：110,000円, その他：40,000円
5 学会誌	4,050,000	4,050,000	3,167,450	第25巻第1号, 第2号, 第3号
(1) 製作費	3,900,000	3,900,000	3,088,250	
(2) J-STAGE搭載作業費	150,000	150,000	79,200	
6 委員会活動費	2,770,000	2,800,000	1,230,596	
(1) 編集委員会	1,000,000	1,000,000	400,953	拡大編集委員会開催費(1回)を含む
(2) 研究活動推進委員会	670,000	500,000	509,735	セミナー開催費(1回)を含む
(3) 広報委員会	200,000	300,000	154,008	
(4) 教育委員会	200,000	500,000	0	
(5) 国際交流推進委員会	200,000	200,000	165,900	NL No.22作成費を含む
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	100,000	0	
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	200,000	0	
(8) 実践促進委員会	100,000	0	0	
(9) 次世代育成推進委員会	100,000	0	0	
7 選挙運営費	650,000	0	0	
(1) 選挙管理等受付管理費	220,000	0	0	
(2) 代議員選挙運営費	350,000	0	0	
(3) 役員選挙運営費	50,000	0	0	
(4) 選挙管理委員会会議費	30,000	0	0	
8 諸会費	100,000	100,000	100,000	
(1) 日本看護学会協議会	80,000	80,000	80,000	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	20,000	
9 雑費	1,350,000	50,000	42,372	動画配信プラットフォーム構築費を含む
事業費小計	20,900,000	16,250,000	13,853,092	
管理費支出				
1 会議費	250,000	250,000	77,110	
(1) 理事会	200,000	200,000	66,110	監査会議費・Web会議費用を含む
(2) 社員総会	50,000	50,000	11,000	Web会議費用を含む
2 交通・宿泊費	400,000	400,000	0	
3 印刷費	400,000	400,000	266,581	封筒・請求書作成費等
4 発送費	400,000	400,000	269,339	年会費請求書等
5 ホームページ管理費	400,000	400,000	396,000	
6 業務委託費	3,500,000	2,900,000	2,651,880	
7 租税公課	70,000	70,000	70,000	法人税
8 雑費	120,000	120,000	90,618	
(1) 振込手数料	40,000	40,000	33,110	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	80,000	80,000	57,508	登記変更費等
管理費小計	5,540,000	4,940,000	3,821,528	

資産積立支出

1	将来事業準備資金積立金	0	0	0
	資産積立支出小計	0	0	0
	(C) 当期支出合計	26,440,000	21,190,000	17,674,620
	(A-C) 当期収支差額	△699,900	1,620,100	5,611,338
	(B-C) 次期繰越金	25,687,321	22,395,983	26,387,221

Ⅱ. 積立金

将来事業準備資金

(単位：円)

	取 入		支 出	備 考
前年度繰越金	702,564	取崩		0
繰入	0	次年度繰越金		702,564
受取利息	0			
	収入合計	702,564	支出合計	702,564

一般社団法人日本地域看護学会 議事録

2021年度第1回理事会議事録

I. 日 時 2021年5月1日(土) 13:30～16:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子, 岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗*

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

IV. 議 事

審議事項

1. 前回理事会議事録について(宮崎理事)資料1

2020年度第3回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 2021年度社員総会について(宮崎・石丸理事)資料2-1, 2, 3, 4

2021年度社員総会について、開催方法・スケジュール・議題などを確認した。社員には事前に開催案内とともに資料・議決権行使書・オンライン会議への出欠確認書をメールで送付し、6月23日(水)に議決の集計・質問の取りまとめを行い、6月27日(日)13:30～14:30よりZoomによるオンライン会議にて、議決結果の報告・意見交換を行うこととした。

賛助会員の入会に関する議題について、正会員および賛助会員両方の入会金・年会費を定めた申し合わせを資料とすることとした。なお、2021年度社員総会にて承認されたのち、本申し合わせの変更を行う際には理事会審議、入会金・年会費の金額変更が生じる際には、定款どおり社員総会での審議とすることを確認した。

3. 2020年度事業報告について(石丸理事)資料3-1, 2

2020年度事業報告について、2020年度事業報告書(案)(学会全体および委員会活動)を基に確認した。理事会とは別にメールによる審議が8回行われたことから、内容について記載するほか、第2回委員会セミナーの参加者を追記する等、全体を再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

4. 2020年度決算案について(石橋理事)資料4

2020年度決算について、収支計算書(案)を基に確認した。監査完了後に理事会にて再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

5. 2020年度監査について(石橋理事)

会計事務所による会計書類の提出を待ち、5月中に監査を実施する旨を報告した。

6. 2021年度事業計画ならびに2022年度事業計画案について(石丸理事)資料5

2021年度事業計画書(案)、2022年度事業計画書(案)を基に確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

7. 2021年度予算案について(石橋理事)資料6

2021年度予算について、2021年度予算書(案)を基に確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

8. 2021年度会員報告会について

2021年度会員報告会は、第24回学術集会がWeb開催になったことに伴い、前年度と同様に学会誌に掲載する「学会だより」にて報告することとした。

なお、表彰式については、第24回学術集会の第1日目にオンラインにて執り行うこととし、石丸理事および表彰論文選考委員会委員長の上野理事を中心に進めることとした。

9. 入退会者申請者について(石丸理事)資料7, 別紙資料

入会申請者49人、退会申請者63人(2020年度退会:62人, 2021年度退会:1人)について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長・上野理事を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未

納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

報告事項

1. 第24回学術集会について(岸理事) 当日資料

第24回学術集会の進捗について、資料を基に報告した。第4回企画委員会を4月29日に開催し、各プログラムの最終確認と座長の検討、査読スケジュールおよび査読方法・内容の確認、優秀演題賞の検討を行ったこと、広報活動として、学術集会チラシ・研究力向上セミナーチラシを看護系大学、関連団体等に発送したこと、第8回日本CNS看護学会、第63回日本老年医学会学術集会のホームページ上にバナー広告を掲載したことが報告された。当日は、東邦大学にて少人数の実行委員が運営にあたることとし、ライブ配信は1日につき1本で行う。

2. 第25回学術集会について(田村理事) 資料8

第25回学術集会の進捗について、資料を基に報告した。開催趣旨を「地域看護が時代の要請を捉え、人々の健康と安寧に、より一層貢献するための方策を見出すことを目指す」「老人保健法施行以降の地域看護の実践を振り返り、ポストコロナ禍に向けて、看護プロフェッションが果たすべき役割機能責務を追究する」としたこと、開催地である「富山県や北陸・近県での取り組みを取り上げ発信する」としたことが報告された。

また、学術集会チラシを作成し、富山県内の保健師に登録準備を進めてもらうことを目的に、県内に配布したことが併せて報告された。

3. 会員数について(石丸理事) 資料4

4月20日時点での会員数は、1,412人である旨を報告した。

4. 委員会報告について

1) 編集委員会(北山理事)

4月28日に学会誌第24巻第1号が公開となった旨を報告した。前回理事会にて審議を行った、過去の掲載論文の電子的公開の削除を行った件については、学会HPと編集後記に通知文を掲載したことが報告された。また、学会誌の電子化に関するアンケートの結果を反映し、学会誌公開の案内時に、目次を記載したメールマガジンを配信した旨も併せて報告がなされた。

2) 研究活動推進委員会(大森理事) 資料10

第2回研究セミナー(3月14~21日:オンデマンド配信/3月13日:LIVE配信)について、申込人数が210名(会員182名、非会員7名、学生21名)であった旨を報告した。

今後も、オンラインによるセミナーの企画を継続して行うこと、会員からの要望を受けて、過去に開催したセミナーのアーカイブ化についても、経費なども含めて検討していくこととした。

3) 広報委員会(田村理事) 資料11

公的病院等の地域連携担当部署に対して実施したアンケート調査の結果を、資料を基に報告した。調査期間は2021年2~3月、対象者は1,091か所、回答数は154件(回収率14.1%)であった。年齢、所属学会、職種のほか、学術集会に期待するテーマとして、医療連携、多職種連携、ACP看護倫理、看護界へのAIの導入と活用、高齢化社会と地域包括ケアや入退院支援など広い視野で看護の知見を求めるとの意見があり、第24回学術集会に対してもWeb開催の学術集会は参加しやすいなどの意見が得られた。

4) 教育委員会(岸理事)

「日本地域看護学会が提案する地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を学会HP上にて公開したことを報告した。

また、『看護展望』(メヂカルフレンド社/月刊誌)より地域看護学に関する執筆依頼を受けた件で、4月25日発行の5月号に、特集「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法から考える:『地域・在宅看護論』の新たな授業づくり」として、以下の原稿が掲載された旨を報告した。

- ・「看護基礎教育におけるこれからの地域・在宅看護論と授業づくり」宮崎美砂子
- ・「看護学基礎教育で修得すべき地域看護の能力(コンピテンシー)と卒業時到達目標、および目標に到達するための教育内容と方法(2020)を読み解く」岸恵美子
- ・「『地域・在宅看護論』の学習目標、順序性、教えるべき内容について」石橋みゆき
- ・「コロナ禍での効果的な教授法と臨地実習先との連携について」斉藤恵美子
- ・「看護師教育課程における『地域看護学』教育の新たな展開」赤星琴美ほか
- ・「保健師の家庭訪問援助事例を教材とした授業展開」佐藤紀子

5) 国際交流推進委員会(河野理事)

第24巻第1号に英文ニュースレター No.20を掲載した旨を報告した。

6) 表彰論文選考委員会(上野理事)

表彰論文の授賞式および名誉会員の称号賞授与式を第24回学術集会内で行う旨を報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会(宮崎理事)

災害対策に関わる情報や被災地の保健師活動についての情報を収集し、それに基づいて地域看護の実践・教育・研究のあり方を考える機会を作る活動を今後も継続して行う旨を報告した。

5. その他

1) 次回理事会の日程について(宮崎理事)

2021年度第2回理事会について、7月末～8月上旬にオンラインにて開催することとした。

2021年度第2回理事会議事録

I. 日 時 2021年7月24日(土) 15:00～17:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 秋山 正子, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子*, 大森 純子, 蔭山 正子, 岸 恵美子, 北山三津子,
小西かおる, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

IV. 議 事

審議事項

1. 前回理事会議事録について(宮崎理事) 資料1-1～1-2

2021年度第1回理事会議事録案および2021年度からの理事・監事候補者による懇談会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 理事会の2021年度活動計画について(石丸理事) 資料2-1～2-2

2021年度の活動方針および理事会開催日程、予定議題等を確認し、これを承認した。

3. 委員会の2021年度活動計画について

1) 編集委員会(永田理事) 資料3-1

英文の投稿論文の投稿・査読体制の明確化を行うこと、JANAのCOI作成委員会に引き続き参加し、必要に応じて学会としての対応等を理事会に確認していく旨を報告した。

2) 研究活動推進委員会(大森理事) 資料3-2

セミナーを2022年3月に開催すること、その際に会員拡大に向けて広報委員会とも連携予定である旨を報告した。テーマや日程等は委員会で検討し、理事会に諮ることとした。

また、過去のものを含めてセミナー動画をアーカイブ化し、学会HPで公開することについて検討している旨を報告した。

3) 広報委員会(田村理事) 資料3-3

HPの内容確認と充実を行うこと、関連する学会に本学会のバナーの相互リンクの掲載を打診すること、新規会員の獲得を目的に地域包括支援センターへの広報活動を行うことについて報告した。

4) 教育委員会(岸理事) 資料3-4

「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を学会HPに掲載したことに引き続き、今年度の活動計画として、実際に教育内容に反映されているかを検証し、各教育機関に対して授業案や演習例等を提案することを報告した。また、HPに掲載する際に、広く一般に公開するか、会員限定とするか等について、継続して検討する旨を報告した。

5) 国際交流推進委員会(小西理事) 資料3-5

第24巻第1号に英文ニュースレター No.20を掲載した旨を報告した。

2022年6月21～22日にスウェーデンにて開催される国際地域看護学会(ICCHNR)の詳細などを確認し、メールマガジン等で会員へ情報提供することについて報告した。

6) 表彰論文選考委員会(北山理事)資料3-6

2020年度論文賞として、優秀論文賞1編、奨励論文賞2編を選定したこと、2021年度は、選考の第一段階である役員・代議員の投票率の向上を目指すことについて報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会(春山理事)資料3-7

第24回学術集会にて、ワークショップ「保健師教育における健康危機管理の教育方法：指定規則の改正及びコロナ禍の経験を踏まえて」を実施予定であること、他学会と連携し、災害支援、健康危機における支援活動を行う予定であることを報告した。

4. 新規ワーキンググループについて(宮崎理事)資料4

魅力ある学会づくりや本学会の特徴の明確化と共有、潜在している会員のニーズの発掘と学会活動への連動、学術団体としての役割等、本学会が強化すべき課題に対応することを目的とし、1年間の期限で「活動推進エンジンチーム」と「次世代研究活動推進チーム」の新規ワーキンググループを立ち上げる旨を報告し、活動を開始することとした。資料を基に、ワーキンググループの趣旨やメンバー案のほか、年度末に評価を行い、来年度以降の方向性について検討すること、予算は予備費を充てることと等を説明した。

5. 委員会の委員について(宮崎理事)資料5

資料を基に、委員会の委員候補者を確認した。表彰論文選考委員会およびワーキンググループを除き、原則として委員の重複を認めていない方針であることから、編集委員と教育委員に重複していた表氏は編集委員に任命することとし、教育委員会には、秋山理事に委員を任命することとし、2021～2022年度委員会委員を承認した。

6. メール審議内規(案)について(石丸理事)資料6

メール審議の位置付けを明確にすることを目的に、メール審議内規(案)を作成したことについて報告した。原案ではメール審議の回答がない場合は「棄権」とすることとしていたが、「棄権」でなく全員一致による決議が望ましいとの意見があり、他学会の内規等も参考にして、引き続き検討することとした。

7. 入退会者申請者について(石丸理事)資料7, 別紙資料

入会申請者26人、退会申請者7人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長と田村理事を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

8. その他

1) 2021年度全公連総会時のシンポジウムでの発表について

2022年3月26日(土)に開催予定の全公連総会時に実施するシンポジウムへの講演依頼があり、検討の結果、災害支援のあり方検討委員会委員長の春山理事を推薦することとした。

報告事項

1. 第24回学術集会について(岸理事・宮崎理事・石丸理事)資料8・当日資料

第24回学術集会の進捗について報告した。前期登録の参加者が413人であることから、600名を目標に引き続き後期登録での参加を呼び掛けている。また、ライブ配信当日は、東邦大学を拠点に、実行委員を中心に運営する旨を報告した。

その他、理事会企画セミナーには乙部由子氏(元名古屋工業大学 特任准教授/特定非営利活動法人ウイメンズボイス 理事)を迎え、オンデマンド配信を行うこと、会員報告会は、学会誌へ学会だよりを掲載し会員への報告に代えること、表彰論文授賞式と名誉会員授与式についてはライブ配信にて表彰式を行う旨を改めて確認した。表彰式の司会は田高副理事長が務めることとし、表彰状は事前に郵送したうえで、受賞者・名誉会員にコメントを依頼すること、Zoomの設定等について決定した。

2. 第25回学術集会について(田村理事)

第25回学術集会の進捗について報告した。現時点では対面での開催を目指しているが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、Web配信の併用についても検討予定である旨を報告した。

3. JANA社員総会・意見交換会について(田高理事)資料A-1, 2, 3

6月19日に開催されたJANAの社員総会および5月29日に行われた意見交換会について、出席者の田高理事より、資料を基に報告がなされた。

4. 全公連2021年度第1回総会(田高理事)資料B

6月25日に開催された全公連2021年度第1回総会について、出席者の田高理事より、資料を基に報告がなされた。

5. その他

1) 次回理事会の日程について(宮崎理事)

2021年10月上旬に次回理事会を開催することとした。

2021年度第3回理事会議事録

I. 日 時 2021年10月31日(日) 10:00～12:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 秋山 正子, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子*, 大森 純子, 蔭山 正子, 岸 恵美子, 北山三津子,
小西かおる, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(*印は欠席者)

IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

審議事項

1. 前回理事会議事録について(宮崎理事長)資料1-1

2021年度第2回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 入退会申請者について(石丸理事)資料2, 別紙資料

入会申請者13人, 退会申請者6人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない3人については宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

3. 第26回学術集会の開催方法について(荒木田理事)資料3

第26回学術集会について、資料を基に確認し、2023年8月26日(土)～27日(日)の会期で、川崎駅周辺の会場を候補とすることについて承認した。開催方法は、対面とWebのハイブリッド方式を視野に入れ、今後、予算面、会場の収容人数、申込方法等を考慮し検討することとした。

4. 日本地域看護学会臨時理事会における審議内規(案)について(石丸理事)資料4

メール審議の位置付けを明確にすることを目的として、作成された内規案を基に検討した。名称について、「臨時理事会」と表記した場合、対面での臨時理事会も含まれ混同が生じるため、「書面およびメールにおける審議内規(案)」と変更し、これを承認した。今後、書面およびメールによる審議を行う際には、決議には理事全員の承諾が必要であること(通常の理事会では出席理事の過半数で決議可)、また、緊急性を要する内容であること、役員全員が確認すべき場合に限定して行うことを、改めて確認した。

5. 日本地域看護学会誌投稿規程改定(案)について(永田・蔭山理事)資料5

英文論文において日本語の文献を引用する際の記載方法について、資料を基に投稿規程改定(案)を確認し、これを承認した。規程は10月31日付で改定し、学会HPに公開することとした。また、英語版の投稿規程の整備や、国際誌としての位置づけに関する意見が出され、今後検討することとした。

報告事項

1. 第24回学術集会について(岸理事)資料6

第24回学術集会について、8月27日～9月26日：オンデマンド配信、9月11～12日：ライブ配信にて開催されたことを報告した。参加者は659人(前期登録：会員253人/非会員146人, 後期登録：会員81人/非会員152人, 学生：27人)であり、一般演題79題, ワークショップ9題, 後援8団体, 協賛8社の申し込みがあった。

会期中のHPへのアクセス数は98,825件であり、そのうちライブ配信時のアクセス数は、9月11日15,922件, 9月12日10,001件であった。動画再生数は、オンデマンド配信4,600回, ライブ配信656回であった。なお、メールマガジンでの広報時にアクセス数が高くなっていた旨を併せて報告した。

アンケートは37件の回答があり、資料を基に報告した。参加者数と比較して演題が少なかったことや非会員の割合が高かったことから、今後、相関関係を確認することとした。また、Web開催のメリットとデメリットを今後活かすことや、非会員の参加者を入会に繋げられるよう検討することとした。

その他、会計については、収入9,428,511円, 支出9,063,065円で、365,446円が学会本体への戻し金となる見込みである旨を

報告した。委託先などへの支払いを行い、会計監査を行うこととした。

2. 第25回学術集会について(田村理事)資料7

第25回学術集会の進捗状況について、資料を基に報告した。開催方法について、メインプログラム、市民公開シンポジウム、ワークショップは現地会場にて実施、一般演題はオンデマンド配信によるオンライン発表とし、一定期間(2週間)の視聴期間を設けることとした。

プログラムについて、特別講演「地域看護への期待：看護職の自立のために」のサブタイトルが、看護職は自立していないかのような印象を与える可能性があることから、講師の上野千鶴子氏に変更を依頼することとした。また、理事会セミナーについては、次回の理事会にて検討することとした。

3. 会員数について(石丸理事)資料8

10月22日時点での会員数は、1,427人である旨を報告した。

4. 委員会報告について

1) 編集委員会(永田理事)

10月2日に第2回委員会をWebにて開催した旨を報告した。今回受領した投稿論文が9編であり、投稿数の減少が続いていることから、周囲の会員へ投稿を呼び掛けてもらうよう理事に依頼した。

2) 研究活動推進委員会(大森理事)

第1回セミナーの開催について、「地域看護に活かせるGISを用いた研究の理論と実際：脆弱地域を今すぐ可視化！地域の強み弱みを実践に活かす」をテーマに、2022年3月6～21日：オンデマンド配信／3月5日13：00～15：30：ライブ配信(質疑応答を含む)を予定している旨を報告した。参加人数を200名と想定し、参加費は、会員：2,000円／非会員：4,000円／学生：1,000円とすることとした。

3) 広報委員会(田村理事)資料9

10月18日に第1回委員会をWebにて開催し、昨年同様、広報のための質問紙アンケートハガキを作成し、学術集会案内、学会HPのQRコードが記載された入会案内書とともに、地域包括支援センター約1,000か所へ郵送予定である旨を報告した。

また、魅力ある学会づくりを目指し、広報活動を行っていく旨も併せて報告した。

4) 教育委員会(岸理事)当日資料

9月24日に第1回委員会をWebにて開催し、活動計画の検討や意見交換を行った旨を報告した。また、3月に委員会でまとめた「地域看護学の教育内容と方法の報告書」について、今後、図式化を行うことや、委員会にゲストスピーカーを迎えて評価を受けることで、バージョンアップする方針であることも併せて報告した。

5) 国際交流推進委員会(小西理事)資料10

10月15日に第1回委員会をWebにて開催し、学会誌第25巻第1号に掲載予定である英文ニュースレター No.21の内容を検討した旨を報告した。

また、2022年6月21～22日にスウェーデンにて開催される国際地域看護学会(ICCHNR)の演題募集が始まることから、会員への周知のためにメルマガ配信を予定していることも併せて報告した。

6) 表彰論文選考委員会(北山理事)

表彰論文選考に向けて、昨年度は投票率が低かったことから、今年度は投票期間を長く取り、12月中に代議員へ選考依頼を行う予定であることを報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会(春山理事)

「保健師教育における健康危機管理の教育方法」についてアンケート調査を行い、43名の回答があったこと、また、それらの内容について第24回学術集会内のワークショップにて発表を行ったことを報告した。さらに、ワークショップの内容については、学会誌第25巻第1号に委員会報告として掲載予定である旨を報告した。

また、保留となっていた健康危機管理システムについても、活用に向けて委員会で検討していく旨を報告した。

5. 活動推進エンジンチームについて(荒木田理事)資料11

8月10、30日に会議をWebにて開催した結果、①現会員を逃さない、②新規会員の獲得、③当事者や現場の方に魅力ある企画、の3点を活動目標として掲げ、検討していく旨を報告した。さらに、活動目標達成のための具体策について資料を基に説明し、関連する広報委員会・研究活動推進委員会・編集委員会でも検討のうえ、次回の理事会にて報告してもらうよう依頼した。

6. 次世代研究活動推進チームについて(田高理事)資料12

地域看護学の再定義(2019)の実装に役立つ研究課題とは何かを明らかにし、それに基づき地域看護学研究のロードマップ(案)

を作成すること、ならびに、同ロードマップを活用して次世代の地域看護学を担う学会員の拡大および研究活動の活性化と推進を図る体制づくりを拡充することを目的に活動していく旨を報告した。

7. その他

1) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会新役員決定について(宮崎理事)

世話人3名、監事2名を選出する役員選挙が行われ、田高副理事長が世話人として選出された旨を報告した。任期は2022年4月1日～2025年3月31日である。

2) 次回理事会の日程について(宮崎理事)

2022年2月上旬に次回理事会を開催することとした。

2021年度第4回理事会議事録

I. 日 時 2022年2月6日(日) 15:30～17:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子、田高 悦子

理 事 秋山 正子、石橋みゆき、石丸 美奈、大木 幸子*、大森 純子、蔭山 正子、岸 恵美子、北山三津子、小西かおる、田村須賀子、永田 智子、春山 早苗

監 事 佐伯 和子、村嶋 幸代

事務局 筒井 愛、野田 智己

(*印は欠席者)

IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

審議事項

1. 前回理事会議事録について(宮崎理事長)資料1

2021年度第3回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 2022年度社員総会について(石丸理事)資料2

2022年度社員総会について、書面にて決議を取ったうえで、オンライン会議にて議決結果を確認する開催形式とする旨を決定した。事前に議決権を有する社員に資料および議決権行使書・委任状を送付して回答を受け付け、6月26日(日)13:30～14:30、Zoomによるオンライン会議にて、議題の承認ならびに意見交換を行うこととした。

3. 2022年度ならびに2023年度事業計画案について(石丸理事)資料3

2022年度事業計画案ならびに2023年度事業計画案について、資料を基に確認し、これを承認した。ワーキンググループの活動内容を加筆のうえ、次回理事会において再度確認し、2022年度社員総会に諮ることとした。

4. 2022年度予算案について(石橋理事)資料4

2022年度予算案について、資料を基に確認した。委員会活動費およびアーカイブ動画公開サイトの新規構築費等を見直したうえで、次回理事会において再度確認し、2022年度社員総会に諮ることとした。

5. 2021年度表彰論文および名誉会員について(北山理事)資料5

表彰論文選考委員会にて選考した、2021年度表彰論文ならびに名誉会員候補者について、資料を基に確認した。論文賞は、今回代議員による投票期間を長く設けたことで(2021年12月7日～2022年1月17日)、投票率が昨年度より9.9%上がり54.7%であった旨、投票結果を受けて委員会にて以下のとおり優秀論文賞1編および奨励論文賞2編を選考した旨を報告した。選考方法も含め適切であることを確認し、これを承認した。

優秀論文賞

タイトル：認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師のコーディネーション尺度の開発(原著)

著 者：岡野明美・上野昌江・大川聡子

巻 号：第23巻第1号

奨励論文賞1

タイトル：市町村保健師の職業的アイデンティティの形成プロセスと影響要因：複線径路等至性モデリング(TEM)による4類型からみた特徴(原著)

著 者：小路浩子

巻 号：第23巻第2号

奨励論文賞2

タイトル：アクションリサーチによる地区組織基盤の世代間交流プログラムの開発と評価（研究報告）

著 者：有本 梓・伊藤絵梨子・白谷佳恵・田高悦子

巻 号：第23巻第2号

また、名誉会員候補者は、2004年度学術集会長であり、理事を2期6年間務めた早川和生氏を推挙し、2022年度社員総会にて承認を得ることとした。

なお、第25回学術集会において、オンラインによる表彰式を執り行うほか、表彰論文は会場でのパネル掲示を行うとともに、学会HPに選考理由・受賞者の声を掲載することとした。

6. 第25回学術集合理事会セミナーについて（荒木田理事）資料6

第25回学術集会における理事会セミナーについて、研究を政策的に進めるという観点から、「ライフサイエンス政策の現在：科学と社会をつなぐ」をテーマに講演を企画することとした。講師候補者として菱山 豊氏（徳島大学副学長）が選出され、理事長および副理事長より打診することとした。

7. 健康危機管理システムの活用について（宮崎・春山理事）資料7

健康危機管理システムの今後の活用について、災害支援のあり方検討委員会にて検討した結果、本システムの初期の目的は達成できたことに加え、今後はIHEATとの連携や学会としての情報提供に注力すべきでは等の意見が出されたことから、本システムの運用を終了することを決定した。また、会員にはHP等で報告することとした。

8. アーカイブ動画公開サイトについて（大森理事）資料13-2

研究活動推進委員会が主催するセミナーについて、2020年度：2回（2019年度セミナーの延期分1回を含む）、2021年度：1回の計3回分のアーカイブ動画があるため、会員向けのサービスとしてオンデマンド動画の配信を企画している旨を報告した。今後、動画コンテンツをWeb上で配信するためのシステムである動画配信プラットフォームを整え、著作権などの契約関連、参加費を支払って参加した会員との差別化などを検討したうえで進めることとした。また、学術集会や他の委員会活動等でも活用できることから、動画配信プラットフォームの構築費については、委員会活動費ではなく予備費から支出することとした。

9. ワーキンググループの次年度へ向けての提案について（荒木田理事）資料13-7

活動推進エンジンチームからの提案事項として、以下の3点が挙げられ、次年度も継続して検討を行っていくこととした。

- ・学生会員・ユースプログラム制度を検討する専門プロジェクトを作る（2022年度）
- ・現場参加型の学会を作るための組織（実践促進委員会等）や仕組みを検討する臨時委員会を作る（2022年度）
- ・他学会とのコラボレーションを行い、学術集会担当理事を中心に、学術集会において理事会企画を2本（学術的企画・コラボレーション企画）実施する（2023年度）

10. 第27回学術集会長について（宮崎理事長）

2024年に開催される第27回学術集会の学術集会長について検討し、候補者の理事と引き続き調整を続けることとした。

11. 入退会申請者および年会費滞納者について（石丸理事）資料8・別紙資料

入会申請者9人、退会申請者15人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者で推薦人がいない4人のうち、2人は小西理事、残り2人は宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

また、会費滞納者について、2年滞納の28人は会員資格の継続を認め、引き続き年会費を請求し、3年滞納の12人は退会手続きを取ることにし、これを承認した。

12. その他

1) 新型コロナウイルス関連情報特設サイトの終了時期について（石丸理事）

「新型コロナウイルス関連情報特設サイト」は、新型コロナウイルス感染症に関して幅広い情報を提供する目的で総務担当理事・広報委員会にて運用を行っているが、現時点ではコロナ収束の兆しが見えないことから、当面の間、継続することとした。ただし、サイト開設当初に比べて、現在は厚生労働省のHPでも閲覧可能となっている情報も多いことから、時期をみて終了の判断をすることとした。

報告事項

1. 第24回学術集会について（岸理事）資料9

第24回学術集会の収支決算書(修正案)を基に、オンライン開催におけるシステム利用費や人件費などを修正した旨、近日中に会計監査を予定している旨を報告した。また、2015～2021年の学術集会における参加者の推移等をまとめた資料を提出し、第24回学術集会では特に非会員からの参加が多かったことや、会場での開催とWeb開催とでは集客に明確な関連性はみられなかったことについて報告した。

2. 第25回学術集会について(田村理事) 資料10

1月11日より演題登録・ワークショップの受付を開始し、会員および日本看護系大学協議会会員校に開催案内・チラシを配布した旨を報告した。演題登録数は約100題程度を想定しており、査読委員に代議員の登用を予定していること、理事会セミナー・表彰式はオンラインにて実施すること、表彰論文のパネル掲示を会場にて行うことについて報告した。

3. 第26回学術集会について(荒木田理事)

2023年8月26日(土)～27日(日)の日程で、川崎市の会場とWebでのハイブリッド形式による開催を予定している旨、テーマなどについては企画委員会にて検討中である旨を報告した。

4. 会員数について(石丸理事) 資料11

1月31日時点での会員数は、1,435人である旨を報告した。

5. 2021年度事業報告について(石丸理事) 資料12

2021年度事業報告書案(学会全体および委員会活動)を基に報告した。3月に開催予定である委員会セミナーの参加者を追記する等、全体を再度確認し、2022年度社員総会に諮ることとした。

6. 委員会報告について

一部、資料による報告にて内容を報告した。

1) 編集委員会(永田理事) 資料13-1

- ・活動推進エンジンチームからの依頼を受け、若手研究者向けのサービスの充実について検討した。
- ・第25回学術集会の一般演題の座長に対して、学会誌への投稿論文に繋がる演題の推薦を依頼する予定である。

2) 研究活動推進委員会 資料13-2

- ・3月の委員会セミナーの開催に向けて準備を進めている。
- ・アーカイブ動画公開サイトの運用に向けて、引き続き検討する。

3) 広報委員会 資料13-3

- ・HPの掲載内容の確認と充実を目的として、定期的に確認を行っている。
- ・地域包括支援センター1,010か所に、学会入会案内カード、学術集会開催案内・チラシ、アンケートハガキを送付した。

4) 教育委員会 資料13-4

- ・地域・在宅看護論の教育内容や学会が目指す看護師像について、委員会内で意見交換を行っている。
- ・「地域看護学の卒業到達目標と内容・方法」を評価し、周知を図るとともに、図などを用いて地域看護学の見える化を目指す。

5) 国際交流推進委員会 資料13-5

- ・第24巻第1号に英文ニュースレター No.20を掲載した。
- ・第7回世界看護科学学会学術集会(WANS)ならびに第7回国際地域看護学会(ICCHNR)の詳細について、メールマガジンにて情報提供した。

6) 表彰論文選考委員会 資料13-6

- ・2021年度表彰論文として、優秀論文賞1編、奨励論文賞2編を選定した。
- ・学会HPと第24回学術集会講演集に2020年度表彰論文の抄録を掲載した。

7) 災害支援のあり方検討委員会

- ・健康危機管理の教育方法に関する調査を行った。
- ・第24回学術集会にて、ワークショップ「保健師教育における健康危機管理の教育方法：指定規則の改正及びコロナ禍の経験を踏まえて」を開催した。
- ・オンライン会議の増加等により支出の削減ができてきていることから、2022年度の希望予算額を100,000円に減額する。

8) 活動推進エンジンチーム 資料13-7

- ・会員獲得、魅力ある研修会・学術集会づくり、若手研究者向けのサービスの充実等、関連する委員会に検討を依頼した。
- ・今後の学会としての取り組みについて検討し、理事会への提案事項としてまとめた。

9) 次世代研究活動推進チーム(田高理事)

・地域看護学の再定義の実装に役立つ研究課題のロードマップ作成事業として、役員・代議員へのインタビュー・Web調査（パブコメ）を行い、取りまとめた地域看護学研究のロードマップを2022年度社員総会にて報告予定である。

7. 2021年度中間決算について（石橋理事）資料14

1月31日付の収支計算書を基に、2021年度中間決算について報告した。

8. その他

1) JANA将来構想プロジェクト報告について 資料15

2022年1月4日にJANA情報交換会が開催され、石丸理事が出席した。

2) 次回理事会の日程について（宮崎理事長）

2022年4月下旬～5月上旬に次回理事会を開催することとした。

以上

2022年度社員総会議事録

I. 日 時 2022年6月26日（日）13：30～14：40

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）

III. 社 員 数 議決権を有する社員数：62人

議決権行使書：35人

委任状：22人

未回答：5人

定款第19条「社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の過半数をもって行う。」に則り、本社員総会の成立が宣言された。

IV. 議事録

1. 議事録署名人の決定

定款第24条に則り、宮崎議長ならびに石橋理事が務めることとした。

2. 議題の承認

1) 第1号議案：2021年度事業報告について（賛成：35人、委任状：22人、否決：0人）

2) 第2号議案：2021年度収支決算について（賛成：35人、委任状：22人、否決：0人）

3) 第3号議案：2021年度監査報告について（賛成：35人、委任状：22人、否決：0人）

4) 第4号議案：2022・2023年度事業計画について（賛成：35人、委任状：22人、否決：0人）

5) 第5号議案：2022年度収支予算について（賛成：35人、委任状：22人、否決：0人）

6) 第6号議案：名誉会員の推薦について（賛成：35人、委任状：22人、否決：0人）

第1～6号議案は、定款第19条に定める総社員の過半数の出席と、出席社員の過半数の同意の要件を満たし、【可決】された。

3. 報告事項

・第27回学術集会（2024年開催）の学術集会長として、大森純子氏（東北大学大学院）が選出された旨を報告した。

・第25回学術集会について、田村須賀子学術集会長より、2022年8月27～28日に富山国際会議場（富山市）にて開催する旨を報告した。

・第26回学術集会について、荒木田美香子学術集会長より、2023年9月2～3日にハイブリッド形式にて開催を予定している旨を報告した。

4. 意見交換

社員2人より、以下の意見があった。

・次世代研究活動推進チームの資料「地域看護学定義に基づく2040リサーチアジェンダ24」および「2040リサーチアジェンダ24の達成にむけた戦略の柱」を見て、活発に活動しているという印象を受けた。

・コロナによる閉塞感のある期間が長かったので、今年度、久しぶりに学術集会が現地開催されることを楽しみにしている。学術集会に多くの方が参加してほしい。

以上